

国際政治

204

国際政治研究の先端 18

日本国際政治学会編

米国の同盟政策における核兵器の位置づけの変容	倉科 一 希
グローバルな核秩序の溶解とフランス核抑止戦略	小 島 真智子
戦後日本の対中東外交にみる民族主義	シナン・レヴェント
米国のIMF利用における国内的意図	藤 田 将 史
戦間期国際法の法典化と国際法学者マンレー・O・ハドソン	高 橋 力 也
テロリズム研究における「狂信」の語られ方	山 口 優 人

<特別連載>

第五章 「中国とアジア」研究の特徴 ——『国際政治』誌の視点から	青 山 瑠 妙
第六章 日本の国際政治学におけるアフリカ	武 内 進 一
第七章 日本国際政治学会における中東研究の変遷	山 尾 大
第八章 『国際政治』におけるヨーロッパ研究の傾向	東 野 篤 子

<書評論文>

自衛隊による国際平和協力の到達点	村 上 友 章
------------------	---------

<書 評>

河村有介著 『アラブ権威主義国家における再分配の政治』	今 井 真 士
帯谷俊輔著 『国際連盟』	半 澤 朝 彦

2021年3月刊